

来年3月から「119番通報」が

北見消防署につながります



火事や交通事故などに遭ったときや見たときに皆さんが行う「119番」通報。来年3月中旬から訓子府支署ではなく、北見消防署の通信指令室につながることになります。災害の状況を把握し、救助工作車や複数の救急車の迅速な出動が可能となり、救命率の向上が図られます。町民の皆さんは、落ち着いて住所や氏名を伝えることが大切です。

通報は、住所・氏名を正確に

「119番」通報の一本化は、北見消防署通信指令室のシステム整備が完了する3月中旬にスタートする予定です。

町民の皆さんが気を付けなければならぬのは、現在の通報と同様に、住所・氏名・電話番号を落着いて正確に通信指令員に伝えることです。

現在は、町内会・実践会名と名前を告げただけで分かる状況もありましたが、一本化以後は「訓子府町」ということも伝える必要があります。

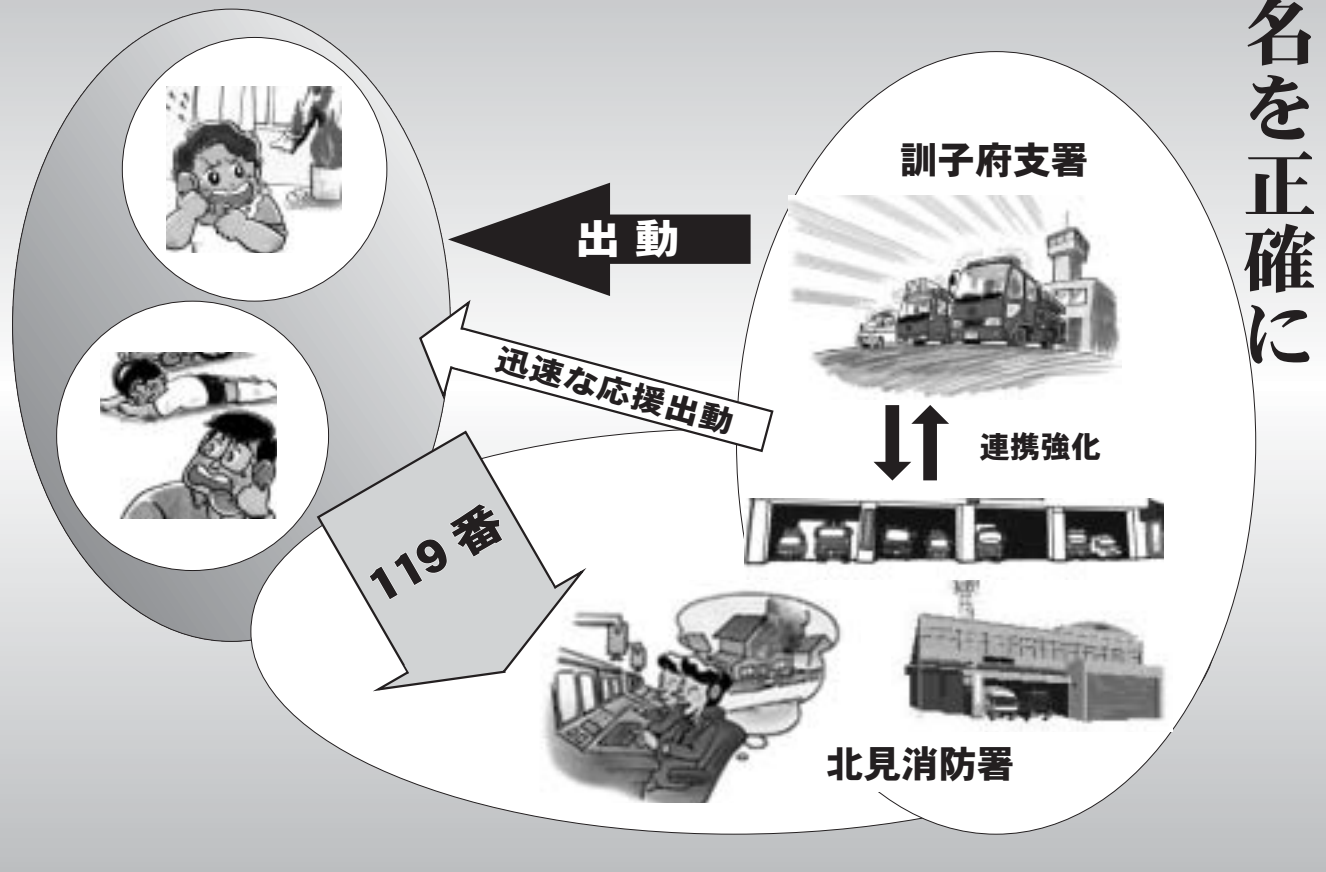
また、「119番」以外に訓子府支署の電話番号でも通報が可能でしたが、すべて「119番」となりますので、ご注意ください。

災害案内

消防のサイレンが聞こえたときに、場所などを問い合わせる場合、北見消防署の災害案内に問い合わせることができま

す。電話番号は12月中には確定する予定です、確定次第、広報などでお知らせします。

平成20年3月からの通信指令体制



北見地区消防組合とは

消防組合は、災害、事故などが広域にわたることなどから、消防組織も広域かつ効率的に活動していこうとする特別地方公共団体です。北見地区消防組合は、昭和47年4月1日に旧北見市、置戸町、訓子府町、旧端野町の1市3町で組織されました。平成18年に旧北見市、旧端野町、旧留辺蘂町、旧常呂町が合併し新北見市となり、広大な北見市と訓子府町そして置戸町の1市2町で消防組合を構成しています。

北見地区消防組合通信指令業務の一本化

- その目的・効果**
- ① 限られた人員の中で消防活動をしているため、通信指令業務を北見にもっていくことで訓子府消防の活動の充実強化が図られます。
 - ② 通報を北見で受けた段階で、災害の状況によって救助工作車を迅速に出動できるほか、訓子府の救急車や消防車に加え、北見からも複数出動させることができます。
 - ③ 現在、町内の一般加入電話からの「119番」通報は訓子府支署に、携帯電話からの通報は、北見消防署につながっています。今後、通信指令業務の一本化で、すべて北見消防署につながり、混乱を避けることができます。

訓子府支署は、北見市、置戸町とともに北見地区消防組合の構成団体で、広域、効率的に消防業務を推進するための組織です。この消防業務をより効率的にしていこうというのが「119番」通報の一本化です。

各種災害対応が
充実・強化

災害弱者緊急通報システムは現行どおり
災害弱者緊急通報装置を設置している方からの緊急通報は、現在と同様に訓子府支署につながります。

通報はあわてず早く正確に!!

火災時の消防の問い合わせ(救急の場合)	通報者の通報内容
消防です、火事ですか、救急ですか。	火事です(救急です)
(どうしましたか。)	(交通事故です。=内容を具体的に)
何町、何番地、ですか。(何町、何番地、ですか。)	訓子府町〇〇町△△番地です。(訓子府町〇〇町△△番地です。)
何が燃えていますか。	□□さんの住宅が燃えています。
何というお宅ですか。	☆☆☆☆です。
あなたのお名前、電話番号は。(あなたのお名前、電話番号は。)	●●—●●●●番です。(☆☆☆☆です。)
はい、分かりました。(はい、分かりました。)	(●●—●●●●番です。)